

〈日本 SPF 豚研究会誌〉

「All about SWINE」投稿のお願い

SPF 豚の普及に役立つ調査・研究論文および防疫、飼養、流通、消費等に関する解説・資料等の原稿を募集しております。下記要領にご留意の上、ご投稿下さい。

1. 原稿は原則としてワープロを使用してA4用紙に横書きで作成して下さい。手書きの場合は、400字詰原稿用紙を使用して下さい。
2. 原稿の1枚目には表題（英文表題も併記）、投稿者名（ローマ字表記も併記）、所属機関名（郵便番号および住所）を記して下さい。2枚目以降の記述形式は特に定めませんが、資料等を引用した場合は末尾に「参考資料」または「引用文献」の項目を設けて下さい。
3. 表は原則として縦罫線を使用せず簡潔なものとし、また図はそのまま印刷が可能なように白色紙または方眼紙に黒色で記入して下さい。写真は原寸印刷が可能なように原則として横7cm程度、縦7cm以下として下さい。
4. 原稿の送付先は当分の間「〒305-0856 つくば市観音台3-1-5 独立行政法人・動物衛生研究所 小林秀樹」までお願いします。

〔編集後記〕

獅子は千尋の谷を這い上がった子供を育てるといわれる。弱肉強食、自然選択の言い回しである。千尋の谷はとても深いらしく、想像するとぞっとする。突き落とされる方はたまったものではない。落ちて命が助かった獅子、再度落ちるかもしれない深い谷を危険な思いで上ることには敬意を払いたい。ただ、千尋の谷底についての記述は

みたことがない。白骨化した子獅子の骨ばかりなのかどうか。実はいろんな餌が落ちこちて来るので、あえて狩りをしなくても楽に暮らせるかもしれない。案外まるまる太った獅子たちが楽園をつくっているかもしれない。そんな怠惰な生活に嫌気をさしたのが谷をよじ登ってくるのかもしれないが、生き方はいろいろあってもよい。そのうち谷底のパラダイスが過密になってきたら誰かが何とかしてくれるだろう。こんな風に思う獅子たちは増えているように思う。おっと今年は寅年でした。（小林）

「All about SWINE」

第36号 2010年2月発行 定価1,500円
 発行者 井上 忠 恕
 編集者 小 林 秀 樹
 発行所 日本 S P F 豚 研 究 会
 事務局 (株)伊藤忠飼料研究所
 予防衛生チーム内
 〒325-0103
 栃木県那須塩原市青木 919
 Tel : 0287 (64) 3652
 Fax : 0287 (63) 8384